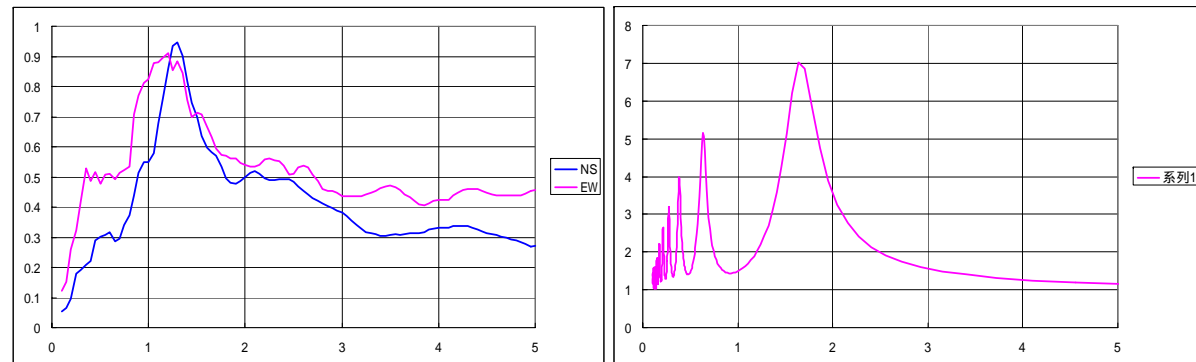


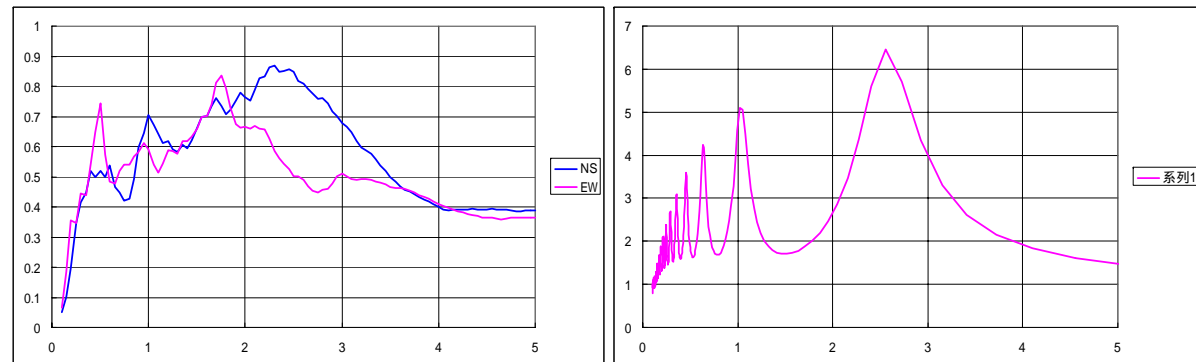
地震観測点における卓越周期

前項に示した地震観測記録から、2004年 紀伊半島沖ないし 東海道沖で発生した3つの地震観測記録をもとに速度応答スペクトルを求め、各観測点で観測記録とモデルによる卓越周期の比較を下の図に示す。ここで速度応答スペクトルは、それぞれの地震記録における応答スペクトルの最大値で正規化しそれらの平均を求めたものとした。左が観測記録による速度応答スペクトル、右が作成したモデルにおける各観測点の地盤増幅特性を示している。なお、モデルの増幅特性が示されていない地点は岩盤上の観測点としてモデル化を行っていない。

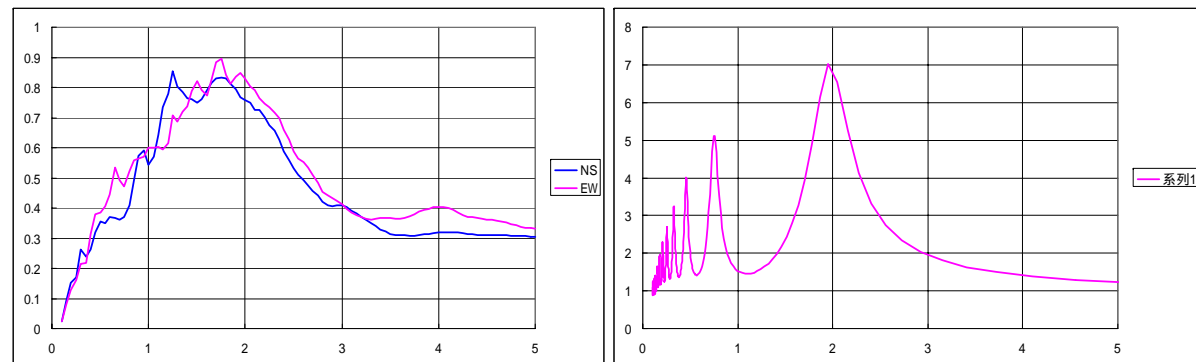
1 京都(5110130)



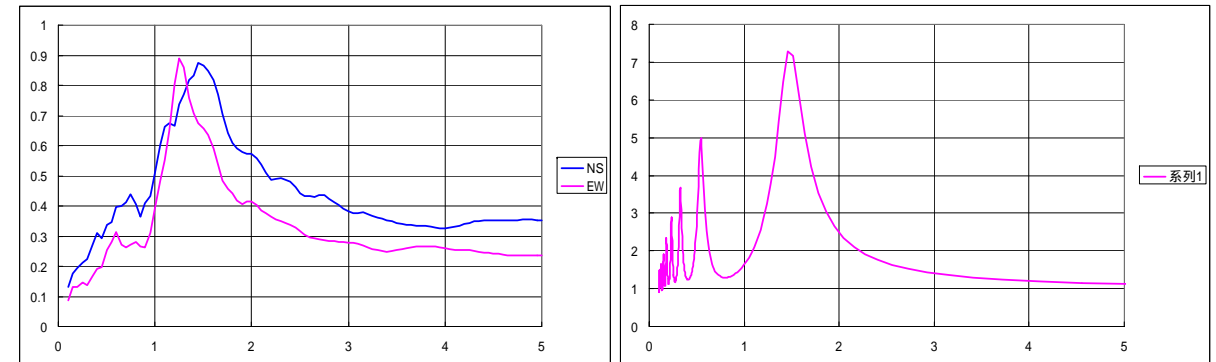
8 城陽(5111330)



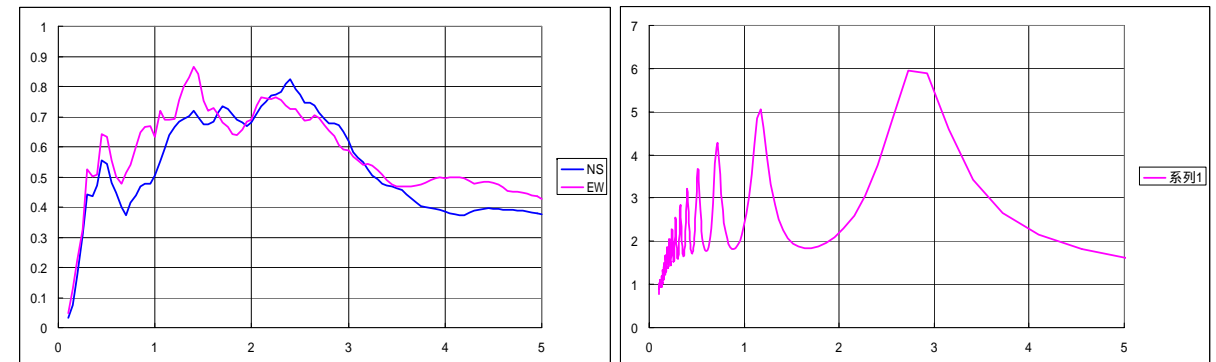
9 向日(5111430)



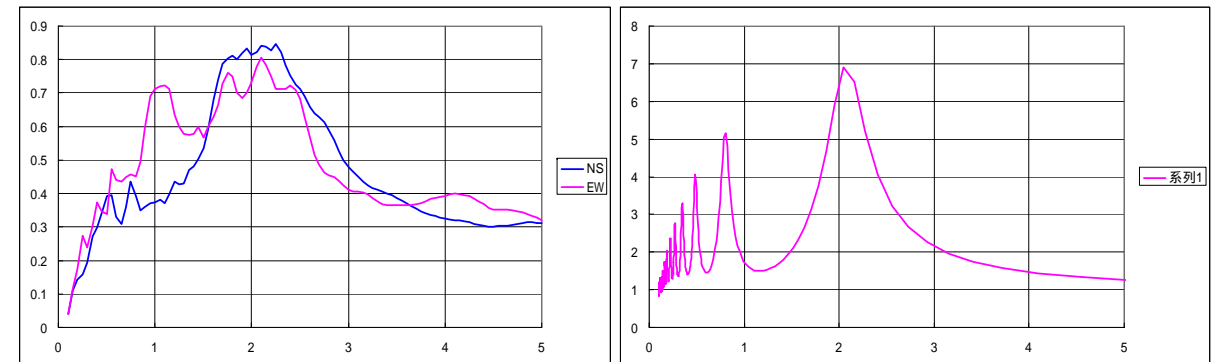
10 長岡京(5111530)



11 八幡(5111630)



12 大山崎(5111730)



13 久御山(5111830)

